

## 卷頭言「可能性と実現性のバランス」

この2015年版白書における「10大キーワードで読む2015年のインターネット」に挙げられた用語は、「オープンデータ」「シェアリングエコノミー」「動画ビジネス」「LINE プラットフォーム」「IoT（Internert of Things）」「MVNO」「モバイルウォレット」「パーソナルデータ」「サイバーセキュリティ」「インターネットガバナンス」である。このうち「オープンデータ」「IoT」「パーソナルデータ」「インターネットガバナンス」は、昨年版から引き続き登場している。

これらのキーワード群をよく見ると二つの方向性がある。「オープンデータ」「シェアリングエコノミー」「IoT」「モバイルウォレット」などは、インターネットによって“より広がる”可能性を示唆したキーワードである。一方で「パーソナルデータ」「サイバーセキュリティ」「インターネットガバナンス」といったキーワードは、可能性を秘めた移り変わる世界でどのように“安定と信頼を保っていくか”というものである。このような二つの方向感がある。

可能性という観点では、今回のキーワードには登場していないが、2020年に東京オリンピック・パラリンピックの開催が決まったことは大きなニュースである。大きく通信インフラを進化させるトリガーとなり得る出来事だ。2020年の情報基盤は、超高速ブロードバンドの普及、無線通信が第4世代/第5世代、放送は4K/8Kとなり、スタジアムに収容された10万人が4Kカメラで撮った動画をその場でアップロードし、世界中でシェアするかもしれない。

このような世界が実現すれば、それは画期的なことだ。情報基盤が存分に利用できる「おもてなし」の実現に向けて、業界でも徐々に士気が上がってきているように感じる。

ただし、膨大な量のトラフィックである。それをさばくに耐える設備と運用が必要となる。円滑な大会の運営に向けて、通信網だけではなく、交通や金融などありとあらゆるインフラのセキュリティ対策が必要である。

可能性は、それだけでは長続きするサービスには結び付かない。可能性を押し広げながらも、たゆまぬ努力によって、それを多くの人に安心・安全なものとして受け入れられ、活用してもらうための調整や整備が必要である。そして継続して安定した運用ができるようにすることが重要だ。

夢のような可能性が広がる世界では、可能性と実現性の合間で、ますますバランス感覚が必要になる。こうした感覚を養うためには、正確な情報のインプットが必須だ。本書が引き続き発展しているインターネットを担う人々の一助になることを願っている。

2015年1月

一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター（JPNIC）

理事長 後藤滋樹

# インターネット白書2015

## 目次

I n t e r n e t W h i t e P a p e r 2 0 1 5

巻頭言「可能性と実現性のバランス」	1
掲載資料一覧	5

### 10大キーワードで読む2015年のインターネット ..... 11

### 第1部 ネットビジネス動向 ..... 23

1-1 メディアとアプリケーション ..... 24
国内オンラインゲームの最新動向 ..... 24
音楽配信サービスの最新動向 ..... 30
電子書籍ビジネスの最新動向 ..... 34
キュレーションメディアの最新動向 ..... 40
ソーシャルメディアの最新トレンド ..... 45
スマートフォンを中心としたインターネット利用の加速 ..... 49
グローバルサーベイからみる日本のデジタルメディアの未来 ..... 61
1-2 広告とマーケティング ..... 73
国内インターネット広告市場の動向 ..... 73
1-3 Eコマース ..... 78
Eコマースの最新動向 ..... 78
決済サービスの最新動向 ..... 83
1-4 新ビジネス ..... 87
Uber から Airbnb までシェア型ビジネスの現状と課題 ..... 87
1-5 ネットビジネス関連統計資料 ..... 93

### 第2部 クラウド・データセンター事業者動向 ..... 97

2-1 クラウド事業者 ..... 98
クラウドビジネスの動向 ..... 98
2-2 データセンター事業者 ..... 105
データセンタービジネス動向 ..... 105
2-3 クラウド・データセンター関連統計資料 ..... 110

<b>第3部 通信事業者動向</b>	113
3-1 国内通信事業者	114
国内通信事業者の動向	114
MVNO の動向	120
3-2 海外通信事業者	126
LTE とグローバルキャリアの動向	126
3-3 通信行政	133
情報通信政策の動向	133
3-4 通信関連統計資料	139
<b>第4部 インフラストラクチャー動向</b>	143
4-1 ドメイン名	144
ドメイン名の最新動向	144
4-2 IP アドレス	157
IPv6 の最新動向	157
4-3 トラフィック	164
インターネットトラフィックの現状と動向	164
モバイルトラフィックの動向	172
4-4 基盤運用	183
インターネットの基盤技術の現状と展望	183
4-5 インターネットガバナンス	188
インターネットガバナンスの動向	188
4-6 セキュリティ	194
2014年の情報セキュリティ動向	194
4-7 インフラストラクチャー統計資料	202
<b>第5部 製品・技術動向</b>	207
5-1 デバイス	208
M2M と IoT のビジネスモデル	208
スマートフォンとタブレットの技術トレンド	213
ウェアラブルコンピューティングの最新動向	219
スマート TV プラットフォームの国際動向	224
5-2 Web	231
HTML5 と関連技術の動向	231
Linked Open Data の技術と動向	235
5-3 ネットワーク	241
HTTP/2 プロトコルの動向	241
SDN/NFV におけるネットワーク仮想化技術の動向	246
無線 LAN 関連国際標準化の動向	250
位置情報ビッグデータを支える技術	258
5-4 製品・技術関連統計資料	263

第6部 社会動向	265
6-1 法律	266
インターネット関連法律の全体動向	266
パーソナルデータの利活用に関する制度改正の動き	271
6-2 市民と行政	277
オープンデータの現状と課題	277
政府のサイバーセキュリティ戦略	284
6-3 教育	290
教育ICTの動向	290
6-4 ワークスタイル	297
テレワークの動向	297
6-5 社会動向統計	302
付録 インターネットの主な出来事 2013.11 → 2014.10	305



1996, 1997, 1998, 1999, 2000, ...

## [インターネット白書ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2015年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容（技術解説、データ、URL、名称など）は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者（執筆者、写真・図の作成者、編集部など）が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元（株式会社インプレスR&D）などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D（初期は株式会社インプレス）と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接的および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp